

富田林発！

「しょうじょ商助」によるいのち輝く 未来社会の実現プロジェクト



大阪府富田林市

(1) 富田林市の現況・課題

- 資源は、富田林寺内町やなす等の農業、製造業・医療・福祉等の産業、大学立地等。
- 平成14年のピーク時以降、人口減少・少子高齢化が続いており、特に20・30歳代の若年層の転出超過が顕著。
(2020年1月時点で、人口110,919人、高齢化率29.9%)
- 今後もこの状況が続けば2030年に99,070人、2060年に60,660人まで減少し、少子高齢化もさらに進行すると推計。
- 持続可能な地域社会を形成していくためには、地域やまちづくりの担い手確保と、あらゆる主体間の相互連携・協力の加速化が重要。



今後、取り組む課題は・・・

マルチパートナーシップの創出

- 多様な主体の参画
機会の確保
- 主体間の役割分担と
相互理解
- 市民協働・公民連携
民民連携



社会・経済・環境の「健康」づくり

- あらゆる主体が活躍できる
社会の「健康」づくり
- 産業創出や雇用確保等、
経済の「健康」づくり
- 低炭素化の推進等、
環境の「健康」づくり



(2) 富田林市におけるSDGs (モデル事業の背景)

① 富田林版SDGs取組方針 (2019年7月策定)

市独自にSDGsの実現に貢献するため、市が取り組む3つの基本的方向を定め公表。

基本的
方向1

SDGsの理念の理解促進

基本的
方向2

市政におけるSDGs要素の反映

基本的
方向3

SDGsを介した様々な連携の創出

② 富田林市総合ビジョン・総合基本計画 (2017～2026年)

最上位計画の総合ビジョン・総合基本計画について、各施策とSDGsのゴールとの紐づけを完了している。また、アクションプランとなる実施計画を策定・公表し、各種事業を通じて、全市的にSDGsを推進することとしている。



③ 富田林市公民連携デスク (2019年10月設置)

公民連携に係るワンストップ窓口として、市役所内に設置。人口減少・高齢化等を背景にまちづくりの担い手確保が課題となる中、多様なステークホルダーとのWIN-WIN連携による課題解決を進める (すでに約10社と協定締結)。



(3) 自治体SDGsモデル事業 (概要)

富田林発！「商助」によるいのち輝く未来社会の実現プロジェクト

統合的取組

いのち輝く
“まちまるごと”
健康プロジェクト

キーワードは
商助！



富田林市SDGs
パートナーシップ制度

富田林市
公民連携デスク

経済

「健康」をキーにした産業の創出と活性化

- ①地域資源をつなぐウェルネストレイル事業 (⇔地域団体等)
- ②SDGs金融による地域活動の活性化 (⇔金融機関)
- ③地域企業への健康経営の普及促進 (⇔明治安田生命)
- ④ものづくり企業への補助充実 (⇔ものづくり企業)



社会

健康寿命の延伸と増進型地域福祉の実現

- ①医療・介護連携による地域包括ケアの実現 (⇔TOMAS)
- ②学生が講師の健康事業 (⇔大阪大谷大)
- ③スポーツ・食の多世代健康教育 (⇔大阪ガス・マクドナルドFC法人等)
- ④“増進型地域福祉”に向けた「校区担当職員」制度 (⇔地域コミュニティ)



環境

健康増進のためのエコロジータウンの形成

- ①地域連携サポートプランと地域公共交通の実践 (⇔近畿運輸局)
- ②配水池設置型の小水力発電事業 (⇔(株)DK-Power)
- ③とんだばやしプラスチックごみゼロ宣言 (⇔地域小売店)
- ④家庭用燃料電池・太陽光発電システム設置補助 (⇔市民・不動産事業者等)



(4) 統合的取組 (補助対象事業) 全体像

いのち輝く“まちまるごと”健康プロジェクト

① 「商助」による持続可能なエコシステム構築事業

- ・店舗や福祉施設等を活用した有償型健康事業の実施
- ・健康活動拠点として民間施設等の環境整備

(15,000千円)

富田林市産官学医包括連携協定 (TOMAS)

富田林市・大阪大谷大学・富田林医師会・アルケア(株)
(2019年11月協定締結)

② 学生派遣による実学経験 (PBL) 事業

- ・健康事業の担い手として大谷大学生の育成事業を実施
- ・「富田林応援団」としての登録と活用 (関係人口)

(4,800千円)

③ 健康・環境×SDGs普及啓発事業

地域企業・団体等の参加によるイベント事業で、ロールモデルの横展開と民民連携の促進

(10,495千円)

付加価値創出・活動の活性化

連携創出・取組の加速化

富田林市SDGsパートナーシップ制度

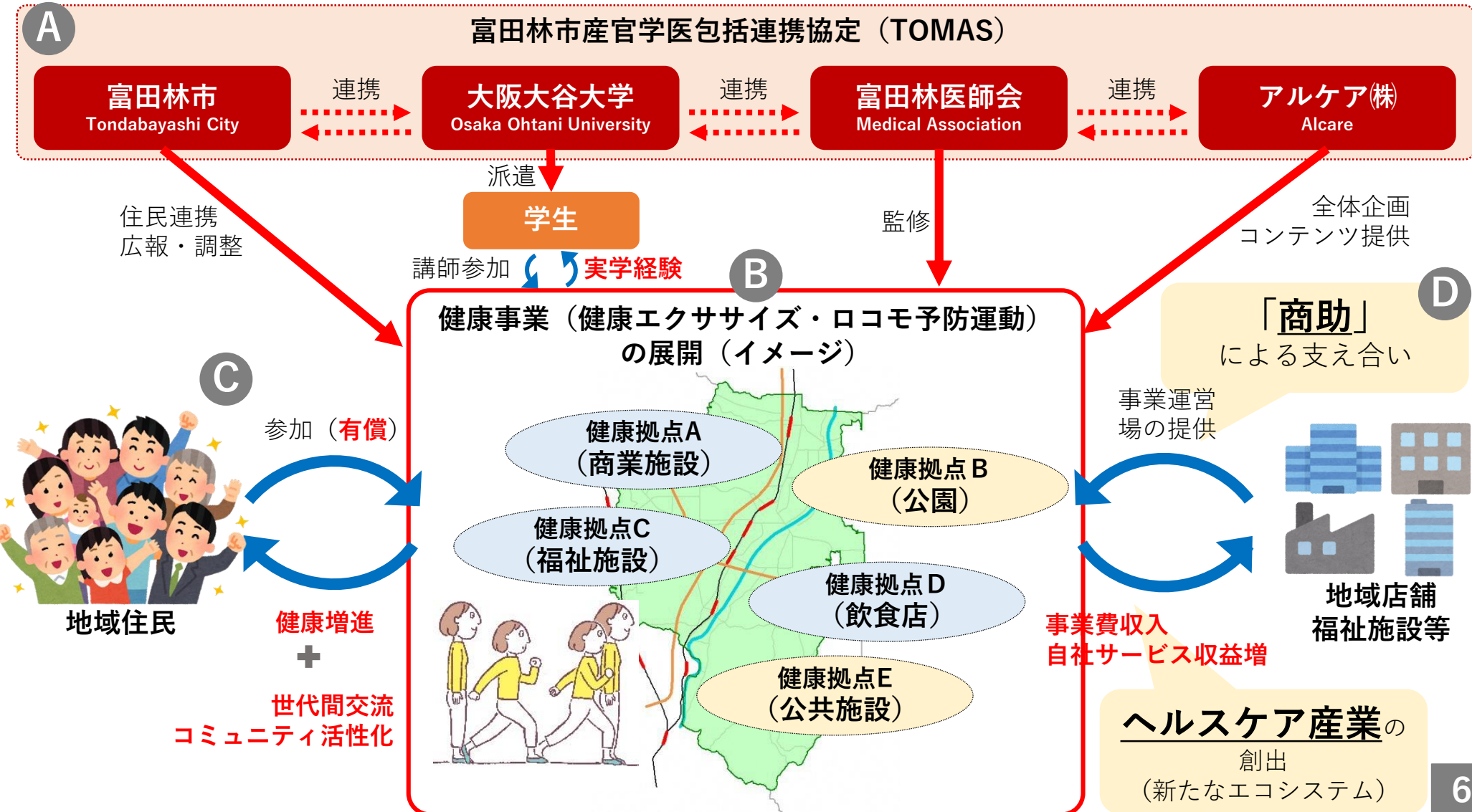
(2020年設計予定)

富田林市公民連携デスク

(2019年7月設置済)

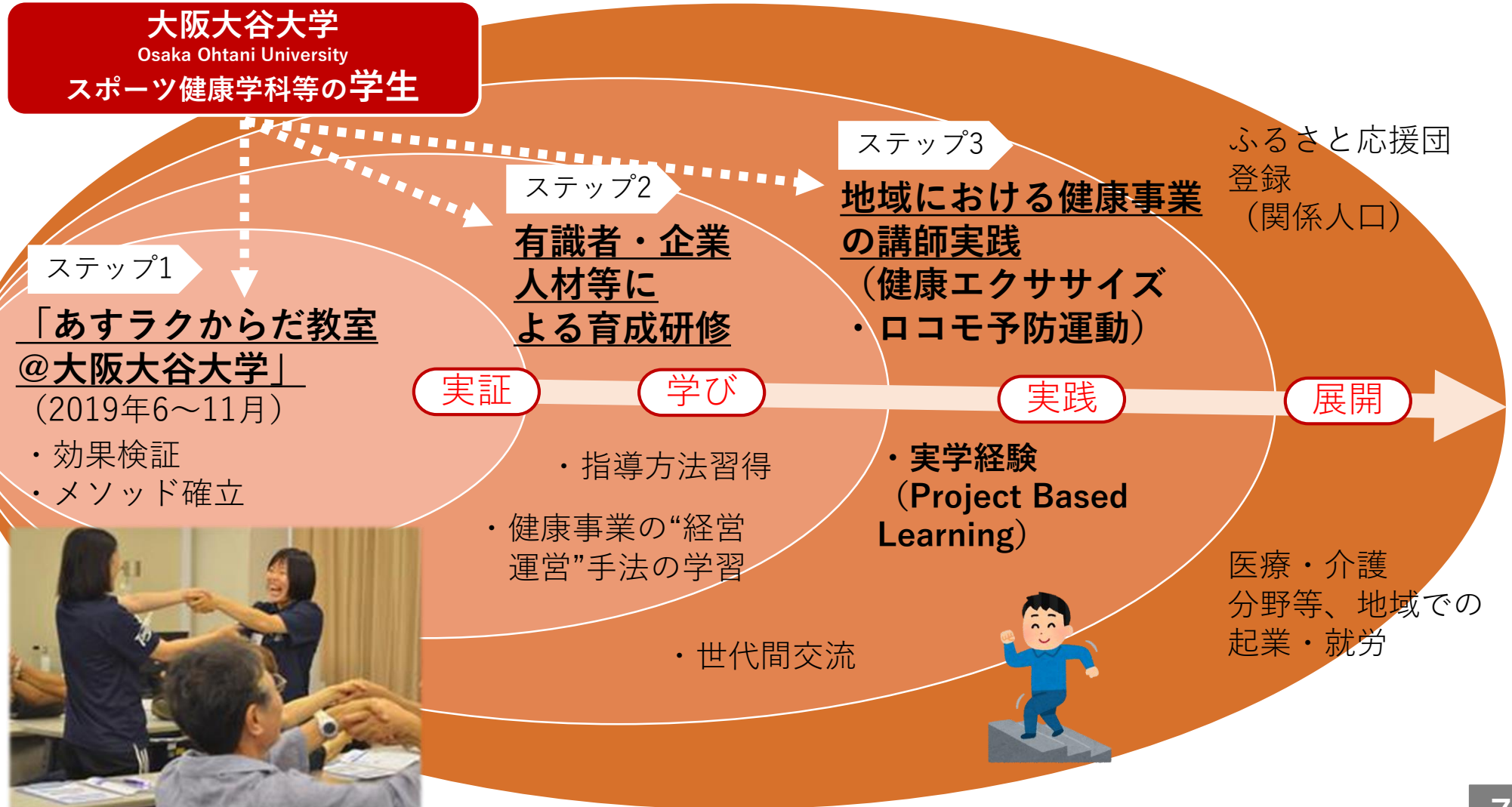
(4) 統合的取組 (補助対象事業)

① 「商助」による持続可能なエコシステム構築事業



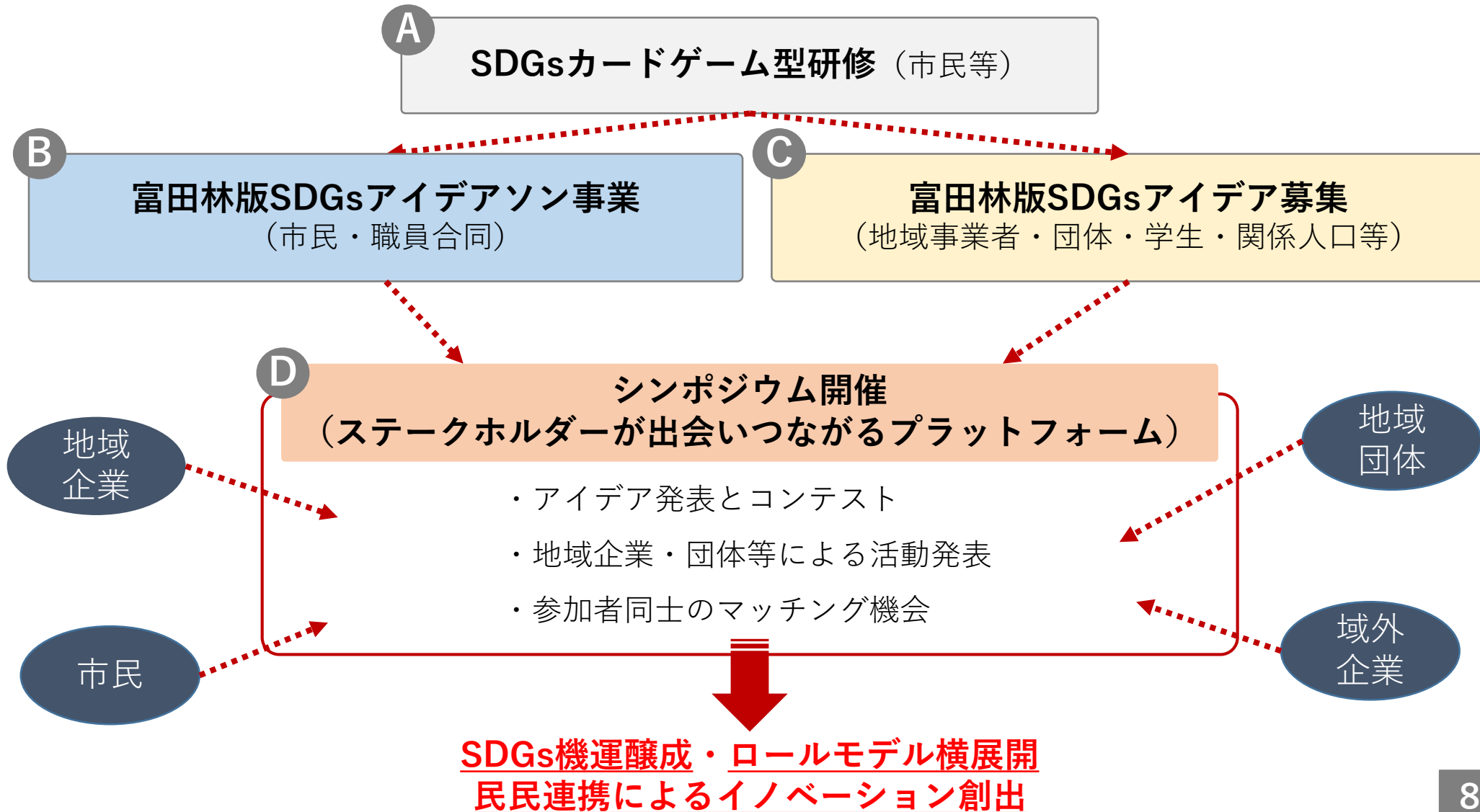
(4) 統合的取組 (補助対象事業)

② 学生派遣による実学経験 (PBL) 事業

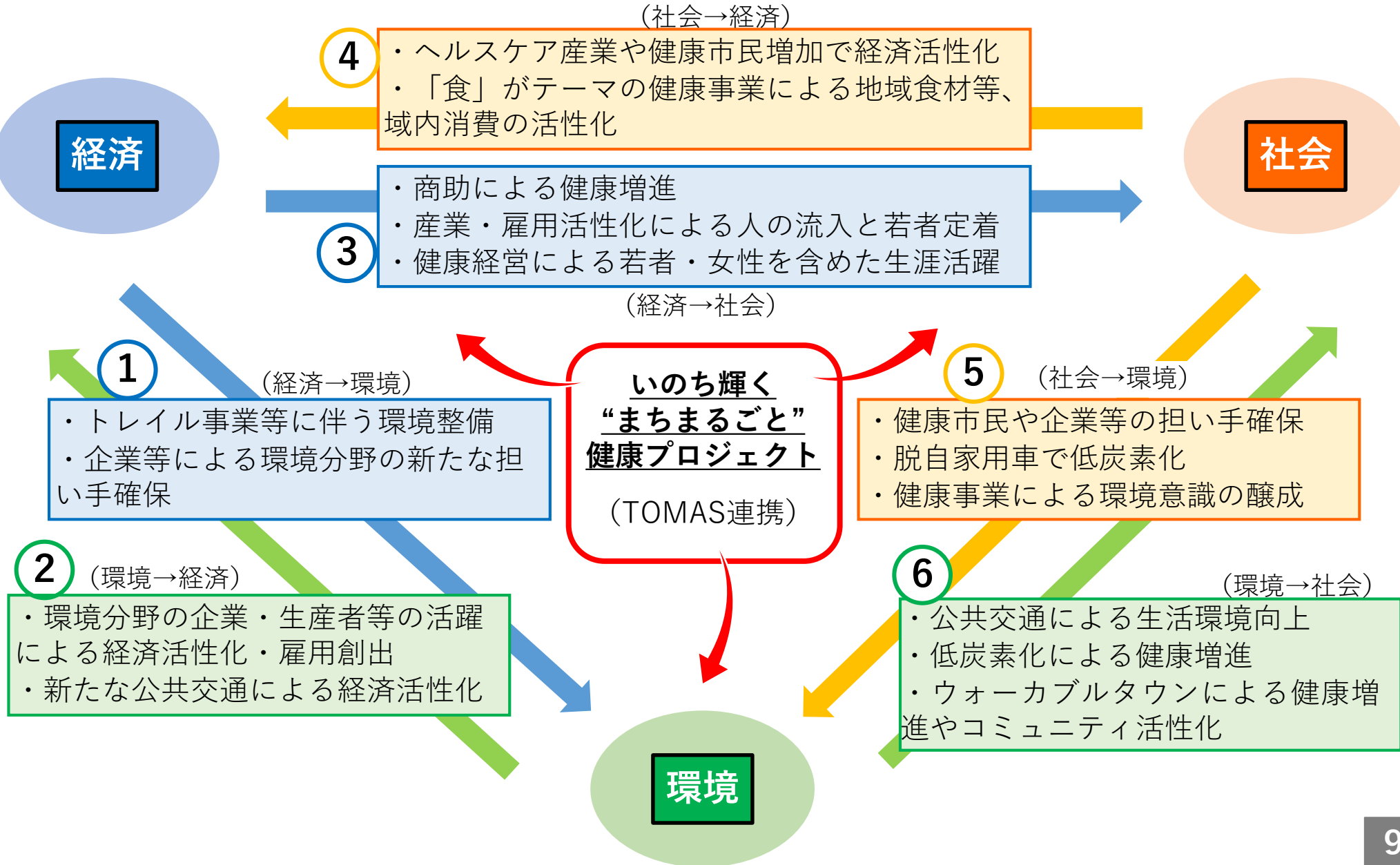


(4) 統合的取組 (補助対象事業)

③ 健康・環境×SDGs普及啓発事業



(5) 経済、社会、環境の相乗効果



(6) 自律的好循環の仕組み

人口流入・雇用創出・
若者定着・経済活性化・
まちづくりへの民間参入促進
→地方創生の実現

TOMAS連携による
いのち輝く“まちまるごと”
健康プロジェクト

| 市 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・初期投資 ・企画管理 ・広報・調整 |

| 大阪大谷大 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学生人材派遣 ・学生の関係人口化 |

| 市民 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・参加費負担 ・各分野への担い手化 |

| 企業・団体 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・場やコンテンツ提供 ・各分野への担い手化 |

| 金融機関 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ESG金融（融資） ・私募債発行 |

TOMAS健康事業の
活性化
→参加市民の増・
地域事業者の参入増

富田林市
公民連携デスク

TOMAS健康事業の
発展的自走運営

健康市民の増加
ヘルスケア産業による
企業・団体等の経営健康化

社会・経済・環境分野
の底上げ
→SDGsモデル事業の
推進

富田林市SDGs
パートナーシップ制度
(2020年度運用開始)

最後に…

「ひと」と「まち」の「健康」増進に向け、
全国のモデル事業として取り組んでまいります！

